

イタイイタイ病や公害について考えました。

11月3日（金・祝）、資料館2階交流学習ルームにおいて、『読み聞かせと書籍の紹介・解説の集い』を開催し、参加者約30名がイタイイタイ病をはじめとした公害の恐ろしさや環境と健康の大切さについて考えました。

第1部の『読み聞かせ』では、当資料館の語り部である小松雅子氏原作の絵本『イタイイタイ病のはなし』と水俣病に関する絵本『みなまたの木』の朗読を行いました。今回の読み聞かせは、朗読のみでなく紙芝居や絵本をスクリーンに映し出して視覚にも訴えたことで、実際に参加した子供たちにも大変分かりやすい内容となりました。

第2部の『イタイイタイ病に関する書籍の紹介・解説の集い』では、鏡森館長より、元イタイイタイ病弁護団の松波淳一氏の著書「改訂 私説・イタイイタイ病は何故に女性に多発してきているのか」の紹介と概要の説明がありました。特に医学的な見地から、イタイイタイ病の症状をはじめ、女性に多い理由の詳細な説明について、参加者は真剣に耳を傾けメモをとっていました。

また、集いの関連イベントとして、10月27日（金）から11月9日（木）の読書週間に合わせ、2階資料閲覧室において、イタイイタイ病に関する書籍35点を展示いたしました。期間中、書籍を熱心に閲覧している来館者の姿が多く見受けられ、イタイイタイ病についてより理解を深めているようでした。

このように、多くの方がイタイイタイ病をはじめとした公害の教訓や先人たちの克服の歴史について、興味や関心を持ちながら、じっくりと学び理解していただけたことで、大変有意義な集い及び書籍の展示となりました。



イタイイタイ病に関する紙芝居の朗読
（朗読：稲垣千香子氏）



水俣病に関する絵本の朗読
（朗読：田村すみ子氏（資料館 解説ボランティア））



イタイイタイ病に関する書籍の紹介・解説



イタイイタイ病に関する書籍展示

開催まであとわずか！松波淳一氏による講演会にご参加ください！

前号でもお知らせいたしました、11月23日（木・祝）14時から16時30分まで、資料館2階交流学習ルームにおいて、元イタイイタイ病弁護団の松波淳一氏をお迎えして、『神岡鉱山からのカドミウム排出とその被害の歴史』と題し、神岡鉱山からのカドミウム排出に伴う当時の人々や社会の様子など被害の歴史についてご講演いただきます。

永年にわたり、イタイイタイ病裁判やカドミウム被害の克服に向けた被害住民の活動を支援してきた松波氏の貴重な話を聴くことができる絶好の機会です。

事前申込は不要で、参加費も無料です。

皆様、是非ご参加ください。

富山県立イタイイタイ病資料館 講演会

永年にわたり、イタイイタイ病裁判やカドミウム被害の克服に向けた被害住民の活動を支援してきた元イタイイタイ病弁護団の松波淳一氏が、神岡鉱山からのカドミウム排出に伴う当時の人々や社会の様子など被害の歴史について詳しく語ります。

演題

神岡鉱山からのカドミウム排出とその被害の歴史

平成29年
11/23 木祝
14:00 ~ 16:30

会場 イタイイタイ病資料館
2階 交流学習ルーム

参加無料 どなたでも聴講できます。

講師 松波 淳一 氏
(元イタイイタイ病弁護団)

プロフィール
1930年、富山県氷川町生まれ。
1965年、司法研修所を卒業し、弁護士となり、1968年からイタイイタイ病弁護団の一員として裁判に関与し、被害住民の活動を支援。
また、イタイイタイ病裁判のほか、『経スモン』誌（1972年～）や『水俣病』誌（1985年～）、高遠邦典伊「bunJip」誌（1987年～）など、数々の裁判にも関与。
1997年から2000年まで4年間、新潟大学理学部教養課程で非常勤講師としてイタイイタイ病を講義。
2001年、弁護士の仕事を辞めた前後から、イタイイタイ病のみならず、スモンや水俣病などに関する執筆活動に力がかかる。著書として、『ある反対派の』（日本評論社）、『徹底 日本カドミウム被害 百年 記録と展望』（旺文房）、『改訂 私説・イタイイタイ病は同様に女性に多発してきているのか』（旺文房）など多数。

お問合せ先 富山県立イタイイタイ病資料館
〒939-8224 富山市友杉151（とやま健康パーク内）
TEL：076-428-0830
FAX：076-428-0833
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/>